

2022年9月29日

各位

上場会社名	株式会社ハンズ
代表者	代表取締役社長 長島 宏
コード番号	5077
問合せ先責任者	取締役管理本部長 鈴木 新
TEL	03-5778-9188

(再訂正)「2022年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

2022年8月12日に公表しました「2022年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたので、下記のとおりお知らせします。なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正の理由

「2022年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」提出後に、記載内容の一部に誤りがあることが判明したため、この訂正を行うものです。

2. 訂正の内容(訂正箇所)

添付資料

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【訂正前】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は22,261千円となりました。主な増加要因は税引前当期純利益80,660千円、役員退職慰労引当金の増加額6,045千円、破産更生債権等の減少額4,152千円、仕入債務の増加額5,969千円、未払金の増加額20,202千円等、主な減少要因は売上債権の増加額58,751千円、未払消費税等の減少額37,318千円、前受金の減少額5,595千円、法人税等の支払47,584千円によるものです。

【訂正後】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は 22,261 千円となりました。主な増加要因は税引前当期純利益 80,660 千円、役員退職慰労引当金の増加額 6,045 千円、破産更生債権等の減少額 4,152 千円、仕入債務の増加額 5,969 千円、未払金の増加額 20,496 千円等、主な減少要因は売上債権の増加額 58,751 千円、未払消費税等の減少額 37,318 千円、前受金の減少額 5,595 千円、法人税等の支払 47,584 千円によるものです。

添付資料

1. 経営成績等の概況

(4) キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当事業年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
未払金の増減額 (△は減少)	<u>1,810</u>	<u>20,202</u>
未払費用の増減額 (△は減少)	<u>2,517</u>	<u>3,313</u>
未払消費税等の増減額 (△は減少)	<u>△19,907</u>	<u>△37,318</u>
未払事業所税の増減額 (△は減少)	<u>545</u>	<u>△76</u>
(後略)		

【訂正後】

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当事業年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
未払金の増減額 (△は減少)	<u>6,280</u>	<u>20,496</u>
未払費用の増減額 (△は減少)	<u>△1,952</u>	<u>3,020</u>
未払消費税等の増減額 (△は減少)	<u>△19,907</u>	<u>△37,318</u>
未払事業所税の増減額 (△は減少)	<u>545</u>	<u>△76</u>
(後略)		

添付資料

1. 経営成績等の概況

(5) 財務諸表に関する注記事項

(表示方法の変更)

【訂正前】

(キャッシュ・フロー計算書)

前事業年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「資産除去債務利息費用」は重要性が乏しいため、当事業年度においては「資産除去債務の増減(△は減少)」に含めて表示しております。

この結果、前事業年度のキャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「資産除去債務利息費用」として表示していた18千円は、「資産除去債務の増減(△は減少)」として組替えております。

前事業年度において「営業活動のキャッシュ・フロー」の「仕入債務の増減額(△は減少)」に含めていた「未払金の増減額(△は減少)」は、重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度のキャッシュ・フロー計算書において、「営業活動のキャッシュ・フロー」の「仕入債務の増減額(△は減少)」に表示していた△7,261千円は、「仕入債務の増減額(△は減少)」△9,071千円、「未払金の増減額(△は減少)」1,810千円として組替えております。

前事業年度において「営業活動のキャッシュ・フロー」の「その他負債の増減額(△は減少)」に含めていた「未払費用の増減額(△は減少)」及び「前受金の増減額(△は減少)」は、重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度のキャッシュ・フロー計算書において、「営業活動のキャッシュ・フロー」の「その他負債の増減額(△は減少)」に表示していた△1,875千円は、「未払費用の増減額(△は減少)」2,517千円、「前受金の増減額(△は減少)」△4,392千円として組替えております。

【訂正後】

(キャッシュ・フロー計算書)

前事業年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「資産除去債務利息費用」は金額的重要性が乏しいため、当事業年度においては「資産除去債務の増減(△は減少)」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度のキャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「資産除去債務利息費用」として表示していた18千円は、「資産除去債務の増減（△は減少）」1,048千円として組替えております。

(削除)

前事業年度において「営業活動のキャッシュ・フロー」の「その他負債の増減額（△は減少）」に含めていた「未払費用の増減額（△は減少）」及び「前受金の増減額（△は減少）」は、金額的重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度のキャッシュ・フロー計算書において、「営業活動のキャッシュ・フロー」の「その他負債の増減額（△は減少）」に表示していた△1,875千円は、「未払金の増減額（△は減少）」6,280千円、「未払費用の増減額（△は減少）」△1,952千円、「前受金の増減額（△は減少）」△4,392千円として組替えております。

以上